

# 「石東地域」の宝物探し

和田 浩

## 1. はじめに

石見銀山が平成19年7月に世界遺産登録されて以来、周辺地域も新たな観光資源の開発や見直しが行われ、観光客の誘致活動と共に地元の方々が地域活性化のため色々な活動がされています。

大田市周辺の地形・地質を活用した地域活性化や地域貢献を目的として、「石東地域の地形地質に関する地域貢献研究分科会」が今年度より立ち上がりました。

2年の活動期間を目安として、地域が持つ自然環境や特徴を活用した活動や提案ができればと思います。本文は、今年度巡見した箇所の状況等について報告します。

## 2. 活動内容

本研究分科会の幹事である三谷技術士、大田市在住の渡邊技術士、井上技術士の案内の下、普段目にするのことができない海から望む海岸線の景観が見られると言うことで楽しみに参加しました。

### エコ・アド・ツアー他

- (1) 参加者：渡邊、木佐、三谷、長嶺、畑、井上、和田 7名
- (2) 巡見箇所・エコ・アド・ツアー；羽根・久手海岸、立神岩、洞窟
  - ・羽根湖干拓地；干拓地、記念石碑
  - ・掛戸松島；掛戸松島、立看板
  - ・久手大西大師山横穴群；横穴群、立看板
  - ・出雲天王平廃寺；三段孔式心礎、立看板
  - ・松原写真館館長の講和；羽根湖や掛戸松島に関するお話

### 三瓶山火砕流の年代考察他

- (1) 参加者：渡邊、三谷、井上、坂田、和田 5名
- (2) 巡見箇所・三瓶山火砕流痕跡地；大田市役所～市民公園
  - ・久手公民館；NHK 放送掛戸松島の鑑賞と本研究分科会の活動方針決定

## 3. 巡見箇所の概要と感想

巡見した主な箇所・施設の概要と感想は次の通りである。

### 「エコ・アド・ツアー」

羽根旅館組合と地元漁師とのコラボレーションで実現した、羽根漁港発着で羽根・久手海岸を海から眺めるツアーです。その内容を下記に示す。

期 間：6月下旬～9月中旬、所要時間：30～40分  
使用船：伝馬船（5人乗り）、1日4便（AM6:30～PM4:30）  
乗船代：3,000円（大人）、1,000円（小人）



伝馬船で「いざ出発」

洞窟内の中にまで入るため、小さな伝馬船での遊覧となるが波が少し高くなると遊覧不可となる。今年度の乗船者数は、中国新聞の協力もあり広島からの観光客を中心に180名程度であった。



海からの立神島・立神岩

洞窟内へ

海からの断崖眺望

船から見る景色や洞窟内の景観は非常に興味深くおもしろかったが、乗船代の 3,000 円はちょっと高いなあ〜と感じた。漁師さんに聞くと帰港後に当日朝に水揚げされた魚介類による漁師料理の朝食が付いているとの事だが、そのサービスは、第 1 便 (AM6:30 発) のみでその他の便にはなく料金が同じと言う事なので不公平感否めない気がした。

山陰海岸ジオパークでの乗船代や他地域の遊覧船の例を下表に示すが、それらと比較しても本ツアーの料金の高額感を取り除かなければ、リピーターを呼び込むことは難しいと思われる。

表-1. 観光遊覧船料金比較表

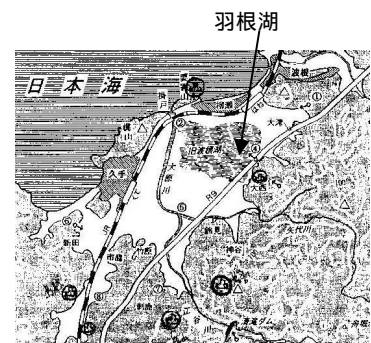
観光遊覧船	地域	料金(円)	所要時間(分)
エコ・アド・ツアー	島根県大田市波根町	3,000	30~40
潜戸観光遊覧船	島根県松江市島根町	1,200	50
海中展望船あまんぼう	島根県隠岐郡海士町	2,000	50
白島遊覧船	島根県隠岐郡隠岐の島町	2,000	50
国賀めぐり観光船	島根県隠岐郡西ノ島町	2,040~3,210	90~120
浦富遊覧船	鳥取県岩美郡岩美町	1,200	40
三姉妹船長遊覧船かすみ丸	兵庫県美方郡香美町	1,200~2,500	30~90
但馬海岸遊覧船	兵庫県美方郡新温泉町	1,000~1,900	30~60
長崎港めぐり	長崎県長崎市	1,300	60

料金はホームページより検索

### 羽根湖干拓地 (松原写真館館長)

皆さんはご存知でしょうか？昔、大田市には「羽根湖」と言う湖があった事を！場所は右図に示すように現在の国道 9 号沿いで大原川と波根駅との間に位置していました。

戦国時代～徳川時代の古地図によると羽根湖の大きさは東西 1.4km、南北 1.0km、周囲 4.3km で湖面面積は 112ha という広さでした。干拓は明和 7 年 (1770 年) より行われたようで、最後の干拓事業は、昭和 12 年 (1937 年) に始まった日中戦争による食糧不足を解消するため行われた。当時、島根県内の潮



旧羽根湖位置図

である中海、宍道湖、神西湖、羽根湖、幡龍湖の 5 箇所が干拓候補地として挙げたようだが、水深が 1.5m と浅く工事が容易ということで羽根湖に決まり、昭和 26 年 (1951 年) に干拓工事が終了した。国家の事情もあり致し方ない点もあるが、現在の時代であれば、地元や有識者より反対の声が上がり事業は成立しなかったのではないだろうか？その他の湖も干拓

される可能性があったかと思うとぞっとする。

干拓当時を知る松原さん（松原写真館館長）によると、干拓工事に伴い非常に多くの「うなぎ」の水揚げがあったようだ。仮に干拓が行われなかったら、「うなぎの名産地」として全国に名を馳せていたかも……



羽根湖干拓 20 周年記念碑



干拓地（海側より）



干拓地（山側：久手大西大師山より）

### 「掛戸松島」

皆さんもご存知のように、現在、大原川の河口の日本海側に、当地の景勝地として奇岩「掛戸松島（一本松）」がある。

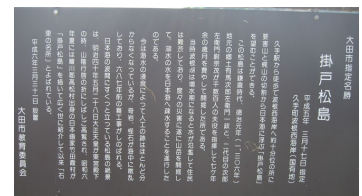
要害山と梶山の切り通しの間から見られ、約 20m の塔状に屹立する岩の上に、一本の青松を載せる姿は見事である。

「久手町郷土史」や立看板には、「現在干拓されている旧波根湖の氾濫に度々苦しめられていた住民が、湖水の水を日本海に排出するため、鎌倉時代、徳治元年（1306 年）、湖と海との境に横たわる丘陵地を、地元の郷土有馬次郎左衛門一政と、二代目の次郎左衛門尉宗茂が千数百人の夫役を指揮して 7 年余の歳月を費やして開掘した。」と記載されており、全ての開削工事が人の手によるものとなっている。

しかし、大原川の河口より掛戸松島に掛けては波食棚が形成されており、地形から見て全てが人工によるものというには少し疑問があり、今後検証を行っていく必要がある。



「掛戸松島」



「掛戸松島」の立看板

### 「出雲天王平廃寺」(日本の木造塔跡)

この礎石は昭和 44 年 5 月、国道 9 号線バイパス建設工事中（現在の国道 9 号線）に発見された寺院跡の塔に使用されていた中心柱の礎石である。現在は島根県立農業大学校前にある「岩盤浴」の西側に心礎と立看板がある。

寺院跡は現在の道路敷に塔跡があり、西側に一棟の建物が検出された。玄武岩系統の自然石を加工して作った心礎には中央に方形の舍利孔を設け、鉄製の落とし蓋をしていたことが判明している。

この寺跡は、奈良時代前期に建築されたもので、心礎の大きさは 2.0×1.25×0.95m、出土瓦などから白鳳期と想定され、方形の舍利孔の特異性などから石見東部の古代史を考えるうえで重要な

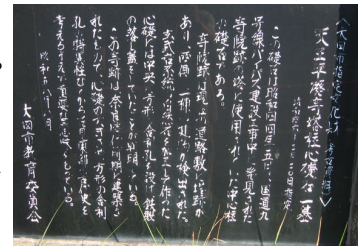


心礎



意味をもっているようである。

現在であれば、道路線形決定において文化財・遺跡等の有無や場所などを事前に把握しルートを回避したり、工事中に出土・発見されれば遺跡発掘調査等により、国道工事の遅延または中止の可能性があったのではないだろうか？



「心礎石」の立看板

#### ⑤「三瓶山火砕流跡地」

三瓶火山は約 11 万年前に活動を開始し、現在までに 7 回程度の活動期があったことが明らかになっている。「三瓶山 Web」での各活動期は以下のように記載されている。

第 1 活動期：11 万年前頃、第 2 活動期：7 万年前頃、第 3 活動期：3～4 万年前頃  
第 4 活動期：1.6 万年前頃、第 5 活動期：1 万年前頃、第 6 活動期：約 5000 年前  
第 7 活動期：約 4000 年前

今回の現地踏査は、三瓶火砕流（噴火）の時代見直しを渡邊技術士の案内及び解説の下、大田市役所～市民公園へ掛けての地形・地層分布や堆積状況等について、縄文海進期と思われる堆積物の有無を探索することで試みた。詳細については渡邊技術士が地質学会誌に論文を投稿されると言う事なので是非読んでみたいし、本技術士会でも講演して頂きたいと思う。

### 4. 今後の活動方針と提案

巡見で知り得た事柄は、地元の方なら知っていて当然かも知れませんが、私にとっては非常に興味深くそれこそ「お宝物」と言って良い物ではないでしょうか？ただし、それを「お宝」とするか、そのまま埋もれさせてしまうかは今後の活動によるところが大ですが、直ぐに結果として現れないかも知れません。しかし幸い、地元の方々の思いが強いので期待したいと思います。最後に本研究分科会の皆さんと話し合った今後の活動と巡見した箇所への提案をしたいと思います。

#### エコ・アド・ツアー

①乗船代；割高感があるため、半額の 1,500 円程度が適当ではなかろうか。割引が不可ならば付加価値として下記を提案する。

提案 1；さざえ、あわびの採取体験（漁師の漁業権利用）と海鮮バーベキュー（日帰り客に対応）

提案 2；魚釣りと薫製づくり体験（宿泊客に対応）

②あわび貝殻の利用法；漢方薬（千里光）、アクセサリ、付け爪、植木鉢（苔玉）

検証は必要だが、ホタテやカキでの実績がある、道路舗装材（滑りにくく磨耗しにくい、路面温度の低減）や塗料チャフウォール（シックハウス症候群の予防）

#### 羽根湖干拓、掛戸松島

羽根湖（干拓前）の日本海への流出口や要害山と梶山の開掘の真偽（人工 or 天然）が未だ定かではない。教材・学習及び発表方法は学校と連携しあい進める必要があるが、地元の小学生の総合学習としての研究を提案する。子供を対象とすることで地元の良さやすばらしさを発見してもらい郷土愛を育むことができるのではと思う。

#### お宝マップ作成

石東地域に存する（眠る）資源や施設を「お宝マップ」として作成し、地元や地域外の方々へ周知してもらう。

以上